

## Fascia（ファシア）に関連する研究開発

理学療法学科

今北 英高 教授

【研究分野】 運動器分野、ファシアに関する治療開発やハイドロリリースの研究  
 【キーワード】 Fascia、ファシアハイドロリリース、ファシアモデル開発  
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=327ima>



### 研究概要

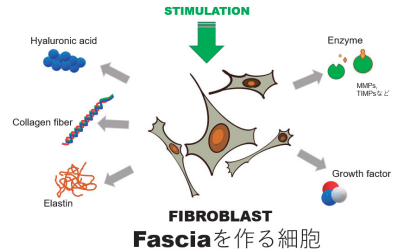
日本において、fasciaというものの知識や概念は、いまだ浸透しているとは言えませんが、2018年6月ジュネーブにて、世界保健機関（WHO）が約30年ぶりにICD-11（国際疾病分類の第11回改訂版）を公表し、この改定によって、『fascia』が基本構造物や原因部位として追加されました。世界的にはfasciaに関する研究が盛んに行われてきており、その構造や機能が運動器、特に“動き”と“痛み”に大きく関わるということが明らかになってきています。身近でいえば、肩こりや腰痛症などの1つの原因とも言われています。また、動きと痛みといった医療関連だけでなく、小じわやたるみといった美容業界でも大変注目を浴びてきており、その研究開発は国際的にも盛んに行われています。

### 研究紹介

臨床の医師、理学療法士、鍼灸師、柔道整復師などと症例を共有し、治療効果について日々研鑽しております。特に、医師が実施するファシアハイドロリリースに関しては治療効果が高く、学術論文にも掲載されているほか、メディア（雑誌、テレビ、ラジオなど）でも多く取り上げられています。理学療法分野においても臨床家と一緒に治療手技に関して、話し合いの場を持っています。私は、基礎研究の方面で、それらの病態変化や介入効果を検証しています。

### 講座テーマ紹介

- ・ Fasciaの解剖生理学的意義
- ・ Fascial pain syndrome
- ・ ファシアハイドロリリース  
 など、ファシアに関する初歩的な理解から、それに対する介入効果について講演可能です。



### アピールポイントなど

2018年11月に、ドイツベルリンで開催されたファシアに関する国際会議『5th International Fascia Research Congress』にて、『Best Basic Science Abstract Award』を受賞しました。

2022年2月に、Fasciaに関する秀作ともいわれる洋書『Fascia: The Tensional Network of the Human Body』の第2改訂版にて、Chapter 7.23 『Hydrorelease of Fascia』を共同執筆しました。